

「伝え合おう、夢宣言！」  
Unit 8 “What do you want to be?” (We can!2)



T1 井上敦子 T2 ALT Husayn Whyte T3 洞木加代 コミュニケーション能力

平成31年1月31日(木) 第5校時

第6学年 男子10名 女子16名 計26名

研究主題 「英語を活用し、豊かに伝え合う児童の育成」～主体的なコミュニケーションを図る「学び合い」の授業を通して～

## 1 単元観

本単元は、将来の夢を題材に、自分のよさや自慢できることを友達とやり取りすることを通して、グローバルな視点から、自己を明確に表現する大切さに気付かせることのできる単元である。

人前で自分を肯定することについて苦手意識をもつ高学年にとって、さまざまな国の児童の夢や、市内の他の学校の児童の夢を知ることは、多様な考えのよさや違いを認めること、やがては自己肯定感を高めることにつながると考える。

やり取りに慣れ親しみ、原稿にまとめ(書くこと)、それを基に互いの原稿を読み合うこと(読むこと)を通して自分の世界を広げるのに適した単元である。

【We can!2】Unit 8  
“What do you want to be?”

## 2 児童観

本学年の児童は、これまでの外国語活動を通じて、やり取りで慣れ親しんだ表現を「書くこと」に取り組んできた。

外国語活動実施状況調査の第1回、第2回を比較すると、前回課題であった「英語を使う場面を考えながら活動している」の問いにおいては、3ポイント、「英語を読む時には単語や表現の意味を考えながら読んでいる」の問いにおいては6ポイント、「英語を書く時には、単語の間を空けるなど、英語の書き方のきまりを守って書いている」の問いにおいては3ポイント、肯定的な回答が増加した。

しかしながら、「会話が続くように、知っている表現を使うようにしている」の問いについては、肯定的評価が3ポイント減少した。授業中のやり取りは、笑顔で会話を楽しんでいるものの、反応表現を自ら選択し、積極的に使うことはあまりできていない。また、声が小さく自信がなさそうだったり、友達と同じ選択をよしとしたりする傾向が見られる。

「読むこと」については、初めて本格的に取り組むことになる。

## 3 指導観

指導にあたっては、主に次の点に取り組む。

- ① 使用する反応表現を”That’s nice!” や”Good luck!” 等に限定はしないが絞ることにし、何度もやり取りを行うことで、慣れ親しませるようにする。また、単元の終末では、船佐小学校の6年生と交流するという目的をもたせることで、意欲を喚起する。
- ② 単元の導入で、指導者が子供の頃の夢について紹介し、モデルを示すことで、「自分の将来の夢について友達と伝え合う」というゴールイメージをもたせる。また、学級や他校の友達と伝え合う活動を通して、さまざまな考えのよさに気付かせたい。
- ③ 「書くこと」においては、やり取りに十分親しませた上で、話す内容を整理し、児童の負担にならないよう、既習事項の”I like～”, ”I can～”, ”be good at～.”を用いて、その職業に就きたい理由を簡単に述べさせるようにする。
- ④ 初めて「読むこと」の言語活動に取り組むため、次のようなスモールステップで実施し、児童の読むことに対する抵抗感を軽減する。
  - (a) やり取りで慣れ親しんだ単語や新出表現のマッチングゲームを通して、読みと意味に親しませる。
  - (b) 読む活動においては、まず音声を聴かせ、全体で内容を確認した後、文字を見ながら指差して聴くようにする。さらに、キーワードを見付けながら聴き、最終的に児童が推測しながら個人で実際に読む活動を行う。

#### 4 単元の目標

- 積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 将来就きたい職業やその理由について尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 将来の夢について書かれた簡単な語句や基本的な英語表現について、例を参考に書き写したり推測しながら読んだりすることに慣れ親しむ。  
【外国語への慣れ親しみ】
- 世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子供がいることを知り、職業を表す語について英語と日本との音声面等のちがいを通して、言葉の面白さに気付く。  
【言語や文化に関する気付き】

#### 5 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手意識を持って、積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとしている。	①どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ②将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。	①英語と日本語との音声面等の違いを通して、言葉の面白さに気付いている。 ②世界には、さまざまな夢をもつ同年代の子供がいることを知り、異なる考えの良さに気付いている。

#### 6 使用表現・語彙

コミュニケーションの 目的・場面・状況	自分が将来就きたい職業や夢などについて、やり取りや原稿を読むことを通して友達と伝え合う。
目指す発話例	A: What do you want to be? B: I want to be a baseball player. A: Why? B: I like baseball. I am good at playing baseball. A: That's nice. Good luck! How about you? What do you want to be?

7 単元計画

(1) 単元構想図

# 伝え合おう，夢宣言！ What do you want to be?

## 課題発見 (0.5)

### 6年生児童の外国語学習に対する思い

- small talk や English passport で，友達や先生と英語で会話しようと頑張ってきた。
- 英語で学校外の人に考えを伝えたいな。
- みんな，どんな夢をもっているのだろう。

### 総合の学習に対する思い

八千代の笑顔集め隊  
発見した故郷の魅力や  
憧れる人の生き方を参  
考にして，自分の将来  
について考えたい。

### 国語の学習に対する思い

今，私は，ぼくは  
卒業文集に自分の将来  
の夢について載せたい。



自分の考えた将来の夢について，英語で書き残したい。  
市内の友達と将来の夢について交流したい。



いろいろな人の  
考えが知り  
たいなあ。

## 課題の設定， 整理・分析 (0.5)

船佐小学校の6年生と英語で将来の夢を伝え合おう。

### 情報の収集 (1)

職業名や将来の夢についての尋ね方・答え方を知り，やり取りに慣れ親しむ。

### 情報の収集 (1)

将来の夢やその理由についてのやり取りや書き方，読み方に慣れ親しむ。

### 情報の収集 ・実行 (1)

船佐小学校6年生との夢宣言交流会

**総合**  
ふるさとの先輩や憧  
れの人，図書やインタ  
ーネットで，職業につ  
いて調べる。

### まとめ・創造・表現 (総合1・国語1)

いろいろな人の考えを聞いて，自分の将来の夢とその理由を見直そう。

### 振り返り (総合1)

海外の人とも交流  
がしたい  
な。

人それぞ  
れの考え  
があって  
面白い。

あの人の良か  
ったところを  
取り入れて見  
直した。

友達が書いた  
英語の文章を  
読むことがで  
きたぞ。



交流会の前と後  
を比べると，夢宣  
言の内容がはっ  
きりしたね。

英語で夢宣  
言を書いた  
ぼくたちっ  
てすごい！

(2) 単元計画 (本時4校時/全4時間)

次	時	目標 (◆) と主な活動	評価観点			◇評価規準 (評価方法) ☆資質・能力の評価 (評価方法) ○表現例
			コ	慣	気	
第一	1	<p><b>課題発見</b></p> <p>◆ 船佐小学校6年生と夢宣言の交流をし、最終的には卒業文集に載せることを話し、単元のゴールイメージをもたせる。</p> <p><b>課題の設定 (0.5)</b></p> <p>船佐小学校の6年生と英語で将来の夢を伝え合おう。</p> <p><b>情報の収集 (0.5)</b></p> <p>1 【Warm Up】 ♪Hello Goodbye 2 【誰の将来の夢?クイズ】 3 【Small Talk】 4 【Today's Goal】</p> <p>職業名や将来の夢についての尋ね方や答え方を知り、やり取りに慣れよう。</p> <p>5 【Activity1】 Pointing game 6 【Let's Watch and Think(p.59)】 7 【Activity2】 Pair talk game 将来の夢 8 【Let's Write】 職業を一つ選んでなぞり書き→コピー 9 【Evaluation】</p> <p>☆コミュニケーション能力</p>	○			<p>ALT: 井上先生, What do you want to be? T1: I want to be a dentist or lawyer. ALT: Why? T1: Because, I like watching the dentist work. And I like justice. ALT: Oh, I see.</p>
						<p>◇ペアの友達に配慮しながら将来の夢について尋ねたり答えたりしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (行動観察・振り返りカード) ○表現例 A: What do you want to be? B: I want to be a baseball player. A: Oh, that's nice! B: What do you want to be? A: I want to be a pianist. B: That's good!</p> <p>◇英語と日本語との音声面等の違いを通して、言葉の面白さに気付いている。【言語や文化に関する気付き】 (行動観察・振り返り)</p>

**情報の収集(1)**

◆ 前時に学習した将来の夢の言い方に加え、理由の言い方に慣れ親しみ、例文を見ながら、将来の夢や理由を書く。

- 1 【Warm Up】 ♪Hello Goodbye
- 2 【誰の将来の夢?クイズ】
- 3 【Review】 I like～. I am good at～.
- 4 【Let's Watch and Think1】
- 5 【Small Talk】 What do you want to be?
- 6 【Today's Goal】

将来の夢やその理由についてのやり取りや書き方、読み方に慣れよう。

- 7 【Let's Listen】 登場人物の将来の夢の話聞いて、わかったことを表に書こう。
- 8 【Activity2】 Pair talk 将来の夢とその理由
- 9 【Let's Write】 将来の夢とその理由についてワークシートに書く。
- 10 【Evaluation】

☆コミュニケーション能力

ALT: 洞木先生, What do you want to be?

T3: I want to be a ( ).

ALT: Oh, That's nice! Why?

T3: (Because), I like ….

I'm good at ….

ALT: I see.

◇将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を、例を参考に書き写している。

【外国語への慣れ親しみ】  
(行動観察・ワークシート・振り返りカード)

○表現例

A: What do you want to be?

B: I want to be a baseball player.

A: Why?

B: I like sports.

I am good at catching ball.

A: That's nice! Good luck!

B: How about you?

A: I want to be an artist.

B: Why?

A: I can draw pictures very well. I like arts and crafts.

B: That's great! Good luck!

2

○

	<p><b>情報の収集(1)</b></p> <p>◆ 将来の夢について書かれた友達の文章を推測しながら読み、内容が分かる。</p> <p>1 【Warm Up】 ♪Hello Goodbye</p> <p>2 【Small Talk】 What do you want to be? (A pair→C pair)</p> <p>3 【Activity1】 Matching game</p> <p>4 【Today's Goal】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>将来の夢について書かれた友達の文章を読み取ろう。</p> </div> <p>5 【Listen and Read】 職員の子供の頃の夢について、話し合う。 ALT の読みを聴く(音声のみ)</p> <p>→文章の提示</p> <p>→内容についての質問に答える</p> <p>→音声を聴きながら文章を指で追う</p> <p>→文章の中から指導者が発音した語(キーワード)を見つける</p> <p>→ALTの後に続いて、繰り返して読む。</p> <p>→(誰の文章か考えさせる。)</p> <p>6 【Activity2】 ワークシートの文章を推測しながら読み、分かったことをグループで交流する。</p> <p>→誰のワークシートかを推測し、その人へ返却する。</p> <p>7 【Evaluation】</p>	○	<p>◇ 将来の夢について簡単な語句や表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。</p> <p>【外国語への慣れ親しみ】(行動観察・ワークシート・振り返りカード)</p>
第二次	<p><b>1本時</b></p> <p><b>実行(1)</b></p> <p>◆ 将来の夢について書かれた船佐小の友達の文章を推測しながら読み、それぞれの考えの違いのよさに気付く。</p> <p>1 【Warm Up】 ♪Hello Goodbye</p> <p>2 【Small Talk】 What do you want to be? (A pair→C pair)</p> <p>3 【Activity1】 Matching game</p> <p>4 【Today's Goal】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>将来の夢について書かれた船佐小6年生の友達の夢宣言を読みとろう。</p> </div>	○	<p>◇世界には、さまざまな夢をもつ同年代の子供がいることを知り、異なる考えのよさに気付いている。【言語や文化に関する気付き】(ふり返し・ワークシート・行動観察)</p>

**ALTの読みで紹介**

I want to be a lab technician.  
I like white robes.  
That's cool.  
I want to test people's blood.

**質問**

This person said, I want to be a ...?  
Yes, that's right. She wants to be a lab technician. She likes ~? Yes, she likes white robes. She want ~?  
Yes, she wants to test people's blood.

**語を見付けさせる**

Can you point to "lab technician"?  
Yes, that's right!

	<p>5 【Listen and Read】 職員の子供の頃の夢について、話し合う。 ALT の読みを聴く（音声のみ） →文章の提示 →内容についての質問に答える →音声を聴きながら文章を指で追う →文章の中から指導者が発音した語（キーワード）を見つける →ALTの後に続いて、繰り返して読む。 →（誰の文章か考えさせる。）</p> <p>6 【Activity2】 ワークシートの文章を推測しながら読み、分かったことを個人やグループで交流する。</p> <p>7 【Activity3】 グループで交流した感想や質問、応援メッセージを船佐小の児童と交流する。</p> <p>8 【Evaluation】</p>	<p>八千代 : Hello! Nice to meet you! 船佐 : Nice to meet you, too. よろしくお願ひします。</p> <p>All: What do you want to be? （相手が受け取ったワークシートを声に出して読む。） All or 個人: That's nice!（等の反応表現で答える） 感想や応援メッセージをその場で考えて伝える。</p>
--	--	--

## 9 本時のねらいとポイント

### (1) 本時の目標

船佐小学校の6年生と楽しみながら交流し、さまざまな将来の夢に対する考えを知り、異なる考えの良さに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

基本的な表現や語句で書かれた友達の夢宣言の文章を推測しながら読むことができる。

【外国語への慣れ親しみ】

### (2) 本時の評価規準

学級の外には、さまざまな夢をもつ同年代の子供がいることを知り、異なる考えの良さに気付いている。 【言語や文化に関する気付き】

夢宣言の文章を推測しながら読んでいる。

【外国語への慣れ親しみ】

### (3) 主な使用表現・語彙

What do you want to be?  
I want to be (a baseball player).  
Why? / I like (catch ball).  
I can (play baseball very well).  
I am good at~.  
That's good. / That's cool.  
Good luck.

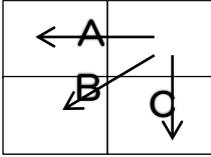
be, luck, future,  
**職業**  
teacher, astronaut, cook, nurse, pilot, singer,  
flight attendant, vet, zookeeper, comedian,  
baker, dentist, artist, farmer, bus driver,  
nursery school teacher, farmer, artist,  
animal specialist, midwife, novelist, patissier,  
beauty consultant, pet barber, pharmacist,  
golden age worker, civil servant, inventor  
Japanese teacher, beautician, voice actor,  
aircraft engineer, game announcer,  
café owner

(4) 準備物

教室用電子黒板・タブレット【デジタル教材（ We can!1）】，ウェブカメラ  
 教師用絵カード，表現カード，ふり返りカード，ワークシート，ヒントカード

10 本時の学習

(1) 学習の展開（本時 4/4）

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点等 ◆評価
	T 1	T 2 (ALT)	
1 挨拶をする。 ・学習リーダーが中心となってやりとりを進める。 ・曜日，日付，天気を言う。	L: Stand up, please. Let's study English! How are you? (I'm fine, and you?) What day is it today? What's the date today? How's the weather now?		・挨拶のよさや声の大きさ，学習リーダーのはたらきを認める。
2 【Small Talk】 What do you want to be? (A pair) 	・モデルを示し，ペアトークの指示をする。	・モデルを示し，トークのよさを見つける。	・繰り返し行うことで，将来の夢を尋ねるやり取り（音声）に慣れさせる。
3 【Activity1】 Matching game	・ルールを説明する。		
4 【Today's Goal】	将来の夢について書かれた船佐小6年生の文章を読み，内容について話し合おう。		
5 【Listen and Read】 ・職員の子供の頃の夢について，話し合う。 ALT の読みを聴く（音声のみ） →文章の提示 →内容についての質問	・単元の流れを振り返り，本時のねらいを再認識させるようにする。	・読むことが困難な児童には，個別にゆっくり読んで聞かせる。	・音声のみで聴かせてから，文章を提示し，簡単な質問を行い，文章を指で追いながら読み，キーワードを探し，音読するというスモールステップをふむことで，読むことに対する児童の抵抗を取り除くようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT の読みで紹介</p> <p>I want to be a doctor.              I'm good at science.              I want to help people.              That's cool.              (Who am I?)</p> </div>		

<p>に答える。  →音声を聴きながら文章を指で追う。  →文章の中から指導者が発音した語(キーワード)を見つける。  →ALTの後に続いて、繰り返して読む。  →(誰の文章か考えさせる。)</p>	<p><b>質問</b>  This person said, I want to be a ...?  Yes, that's right. He wants to be a doctor. He is good at ~?  Yes, he is good at science. He want ~?  Yes, he wants to help people.</p>	<p><b>語を見付けさせる</b>  Can you point to "doctor"?  Yes, that's right!</p>	<p>(・この時点でウェブ会議システムをつないでおくようにする。)</p>	
<p><b>A案6【Activity2】</b>  船佐小の6年生のワークシートの文章を推測しながら読み、分かったことを個人やグループで交流する。</p> <p>・感想交流を行う。</p>	<p>挨拶を促し、積極的に英語で会話させるようにする。</p> <p>船佐小児童と八千代小児童で交互に夢宣言のワークシートを基にクイズを出し合う。  (例)  八千代 All: What do you want to be?  船佐小 A さん: I want to be a (secret).  八千代小 All: Why?  船佐小 A さん: (受け取ったワークシートの将来の夢以外をゆっくりはっきりと声に出して読む。)  What's this?  八千代小児童: It's a (police officer).  船佐小 A さん: Sorry, try again./That's right!</p>	<p>・クイズ, 感想交流の進行を行う。</p>	<p>・T3と共に, 児童の様子によって, 個別に指導する。</p>	<p>・テレビ会議システムで船佐小学校6年生とつなぎ, 交流することで, 児童の意欲を喚起する。  ・人数の差があるので, 船佐小全員分と八千代小は班の代表8人分で交流することにする。  ・難しい言葉については, 事前に説明を付けておくなどの手立てをとっておく。  ◆夢宣言の文章を推測しながら読んでいく。【外国語への慣れ親しみ】(行動観察・ワークシート)  (挨拶をして, テレビ会議を終了する。)</p>

<p><b>【B案】6【Activity2】</b> 船佐小6年生児童の夢宣言についてのビデオレターを撮る。</p> <p>(1)船佐小学校6年生児童のワークシートを基に、班ごとにクイズ大会を行う。</p>	<p>VTRを撮る理由を話し、目的を確認する。クイズの進行を行い、VTRに録画する。</p>		
<p>(2)船佐小6年生のワークシートに、感想や応援メッセージを書く。</p>	<p>班ごとに船佐小6年生のワークシートを基にクイズを出し合う。</p> <p>(例) 他の児童: What do you want to be? 1班: I want to be a (secret). 他の児童!: Why? 1班: (受け取ったワークシートの将来の夢以外をゆっくりはっきりと声に出して読む。) What's this? 他の児童: It's a (police officer). 1班: Sorry, try again./That's right!</p>		
	<p>司会を行い、班の児童だけでなく、他の児童からもメッセージを伝えてもらえるようにしておく。</p> <p>元気になるふわふわ言葉で書くように促す。</p>	<p>T3と共に机間指導を行い、様子を見取る。</p>	
	<p><b>【めざす子供の姿】</b> S1: 自分の知らない職業があることを初めて知って、将来の夢の選択肢が増えました。 S2: 自信をもって英語を話していて、すごいなあと思いました。私も堂々と話したいと思います。 S3: 夢とその理由がしっかりかみ合っていて、よく考えられているなあと思いました。ぜひ、夢を実現してください。</p>		<p>◆世界には、さまざまな夢をもつ同年代の子供がいることを知り、異なる考えの良さに気付いている。 【言語や文化に関する気付き】(行動観察・ワークシート・ふり返り)</p>

7 【Evaluation】	<p>【めざす子供の姿】</p> <p>○ 船佐小学校6年生の夢宣言を読んで、人によってそれぞれちがう夢をもっていることが分かりました。</p> <p>○ 内容を考えて（推測して）読むと、意味が少しずつ分かってうれしかったです。</p> <p>A案</p> <p>○ テレビ会議で会話することで、船佐小学校の友達を身近に感じ、距離を感じなかった。</p> <p>B案</p> <p>○ 船佐小の6年生と次はぜひ、直接英語で話したいです。</p>	<p>・振り返りを発表させ他の児童に気付いていない考えのよさを広げるようにする。</p>
8 挨拶	<p>L: Stand up, please. Let's finish English! Attention, bow. T1: Thank you, everyone. See you next time.</p>	<p>・授業を振り返り、よさを認める。</p>

(2) 板書計画

伝え合おう、夢宣言！ What do you want to be?		
Today's Menu	<p><b>What do you want to be?</b></p> <p><b>I want to be a (        ).</b></p> <p><b>I like (        ).</b></p> <p><b>I am good at (        ).</b></p> <p><b>I want to (        ).</b></p>	<p>picture cards</p>
		reaction cards